

イオンモール座間

AEON MALL ZAMA

No. 03-052-2018作成

新築
物販

発注者	イオンモール株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社 大林組一級建築士事務所 OBAYASHI CORPORATION	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社 大林組東京本店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

地域の記憶を再生し、そこから新たな価値を創造する環境配慮型SC(ショッピングセンター)

神奈川県座間の地で、今も人々の記憶に残る日産座間工場の跡地に、あらたな生活スタイル創造拠点として、環境配慮型のショッピングセンターがオープンした。この地にあらたに作られるショッピングセンターはどうあるべきかと考えたとき、かつての記憶を再生すると同時に、環境にやさしいあらたなライフスタイルを創造するために、マテリアルはできるだけ汎用の工業製品を使用しながら、多様な使い方で豊かな表情を見せるように計画されている（1Mワットに及ぶ電力を生み出す太陽光発電パネルを外壁の表現の一部として使用、色違いの角波鋼板をランダムなストライプとして配置、等）。

それぞれの形態と色には意味を持たせてあり、たとえばオレンジ色の鉤型（かぎがた）は、入口の存在を示すアイコンであると同時に、座間市の花ひまわりの色をイメージしている。地域の歴史の延長上にあり、いろいろな表情をみせるこのSC（ショッピングセンター）が、今後も地域に愛され、人々の出会いを生みコミュニティが広がる、あらたな生活拠点となることを意図している。

北側ファサードデザイン

建物へは、敷地北側の県道50号線、通称、座間街道からのアプローチがメインとなる。近隣は物流倉庫や、工場などが軒を並べる地域にあり、敷地の中で唯一、このSC（ショッピングセンター）の存在を適及できるのが北側のファサードである。そこで、北側のファサードは人々を招き入れるデザインとした。夜には建物を象徴する大きなキャノピーを、LEDによる柔らかな光が覆い、その形を空に浮かび上がらせる。



光に浮かぶ北側ファサード（LED照明器具）



外装に角波鋼板をランダムストライプ配置



イオンモール座間の環境配慮

- 東側外壁の全面に太陽光パネル（1メガワット）および、緑道（歩道）の設置
- 屋上に設置した太陽光パネル（店舗棟）
- 緑化シートによる駐車場緑化（芝貼）
- 浸透貯留水槽による敷地内雨水処理
- EV充電ステーション10台設置
- 地域の郷土種による外構緑化
- 建物下にバスロータリー公共交通機関の利用による交通負荷軽減



大規模太陽光パネルの設置 1,000kw（メガソーラー）

太陽光発電パネルの設置

建物屋上、壁面及び立駐棟壁面に太陽光発電パネルを設置。1メガワット（電力量で年間を通して一般家庭約300世帯分をまかなえる電力）のクリーンな電力を生み出している。

電気自動車充電器の設置と公共交通機関利用促進

電気自動車充電器（急速充電器2台、普通充電器8台）を西側地上駐車場に設置している。また、建物内にバスロータリーを設けて、公共交通機関の利用促進を図っている。

空調設備機器の分散配置を採用

外調機、空調機はエリア毎に系統分けを行い、熱源も同一エリア毎に分散配置することで、各エリアの空調負荷に応じた効率的な熱源運転を行い電力エネルギーを削減している。

熱源機器のモジュール（集約）化

館内滞留人数に合わせ柔軟な空調運転を行うことで、省エネ効果を発揮するとともに、モジュールチラーの採用によりモジュール単体の故障発生時にも、全体で調整を行うシステムを導入している。

換気ファンの変風量制御

喫煙室の換気には人感センサーを導入、未使用時には自動的に換気ファンを抑制することで使用電力を削減している。

全館LED器具の採用

館内共有部、外部サインおよび核店舗「イオンスタイル座間」では、100%LED化を実現している。また、各専門店内も大部分がLEDを採用しており、照明使用電力の約40%を削減している（従来型ショッピングモールとの比較）。

節水型衛生器具の採用

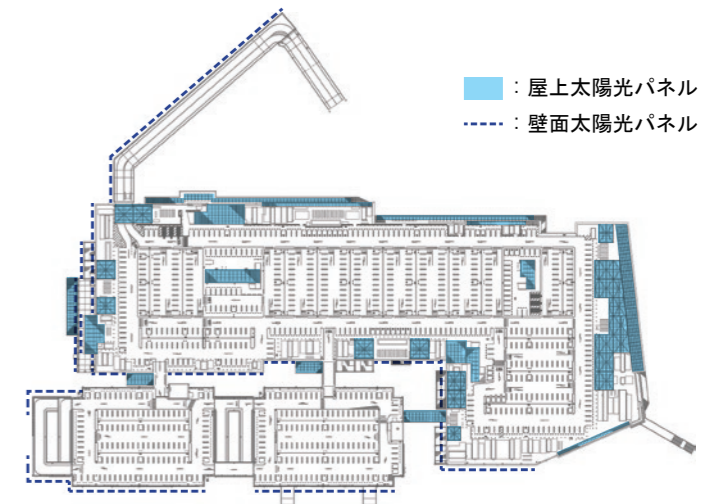
水資源節約のために節水型便器を設置。利用者が必要以上に、洗浄水を流すことがないように従来の自動洗浄装置ではなく、手動洗浄としている。従来方式と比較して約10%の水資源を削減している。

生物環境の保全

近隣に古くからある地域の森の植生調査を実施し地域の郷土種を保存・再生、また敷地内表土の保全を行っている。

設計担当者

統括：神道浩/建築：幡山靖、和田耕平、荒川典典/構造：達富浩、金成龍/設備：大代誠、末吉裕二、原田健司、上野史彰



■：屋上太陽光パネル
---：壁面太陽光パネル

店舗棟屋上の太陽光パネル設置



建物内のピロティにバスロータリーを設置（公共交通機関利用）



電気自動車充電設備

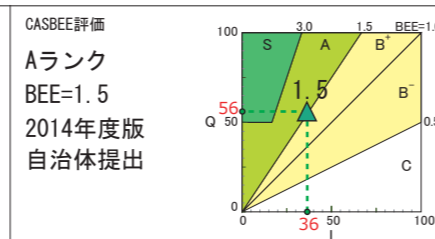


全館LED照明器具

駐車場緑化

所在地	神奈川県座間市
竣工年	2018年
敷地面積	57,867㎡
延床面積	73,583㎡
構造	S造
階数	地上4階

省エネルギー性能	BPI	0.91
	BEI(通常の計算法)	0.81
	LCCO ₂ 削減	16%



主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（主要内装材・屋外空調換気ダクト材の補修・更新間隔への配慮、受電設備の二重化・浸水対策）
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（外構・壁面の緑化、植生調査を実施し地域の郷土種への配慮、敷地内表土の保存）
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制（断熱性の高い建材の採用）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（高効率な照明（LED）・空調設備の採用）
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮（LCCO₂削減）
- LR3. 2. 地域環境への配慮（路線バス・座間市コミュニティバス停を設け、代替交通手段利用による交通負荷軽減への取組）